

# 木葉小便り

令和5年10月10日(火)発行  
文責 校長 吉野 新吾

町福祉大会にて(9/24)



## 「校長先生 きれいな落ち葉を探しているの」

朝から校門付近の桜の落ち葉を掃いていると、1年生の女の子から上のような言葉をかけられました。バツタの入った虫かごを下げていましたが、そのかごに入れる葉を探しているとのことでした。

落ち葉を掃く大人ときれいな落ち葉をさがす子供。子供たちの何気ない言葉に気持ちが癒やされることがあります。

## 1年の折り返し(前期終了)

10月6日(金)前期が終わりました。終業式では、目指す児童像から「責任を持つ」「友達を思いやる」「きまりを守る」ができているかを尋ねました。そして先生方が1人1人の姿を思い浮かべながら書いてくれた通知表の所見から「こんな子供が育っています」と成長の姿を紹介しました。



最近、「業務改善」ということで通知表をやめる学校も出てきています。本校では、山北小学校と情報交換をしながら通知表を作成し、1人1人に渡しています。前期の成長の姿を家族で話題にして欲しいと思いました。校長として、先生方の頑張りに感謝しているところです。

## 我が子から尋ねられたら どんな言葉をかえせますか？

### 「ぼくだって がんばっているんだ」

ぼく かなしいよ なにもしていないのに ぼくのこと 悪口いう子がいるんだ  
そんなの おかしいよ

ぼく くやしいんだ いっしょうけんめい べんきょうしたのに  
さんすうのテスト できなかった そしたら みんなが ぼくのこと ばかにしたんだ  
ぼく がんばったのに ぼく かなしいよ

ぼく いっしょうけんめいにはしたんだ でも ぼく びりっけつ みんなが わらうんだ  
「びり びり びり」って

ぼく かんがえたんだ ぼく みたいに だめな子って たくさんいるんだらうなって  
だめな子は みんな かなしいんだらうなって

こんなとき ぼくは おおきな声をだしたい  
「みんな おかしいよ ぼくだって がんばっているんだ」って

【今野 敏彦著「人権読本・じんけんの歌」より】

担任時代に学級通信に載せたことのある詩を思い出しました。子供たち1人1人を見て、最初から0点でいいと思ってテストに向かう子はいないと思っています。誰だって100点を取りたいし、できれば1番になりたいとスタートするのではないかとも思っています。がんばりをどう認めるかは、子供をしっかり見ていれば、おのずと答えは出てくるのではないのでしょうか。

